

交通事故ゼロをめざして



久保田 由美 中橋 弥里



▲びよんちゃんと一緒に交通ルールの勉強

交通事故から身を守ろう！

毎日の暮らしの中で、交通安全を心がけましょう。

幼児の事故防止に

歩行中は幼児の手首を握る。また、同じ目線で見て危険を防止する。



歩行中の高齢者の事故が増加

安全確認をしっかりと行い、無理な横断はしない。

夕暮れ～夜間の事故防止に

歩行者は明るい色の服装と夜光反射材を身につけ、車に存在を知らせる。(反射材は57m以上の距離からでもドライバーが確認できる)また、自転車や車は早めにライト点灯する。

自転車に乗る時には

体の大きさにあった自転車に乗り、スピードを出しすぎない。

車での万一の事故時に



命を守るために

シートベルトやチャイルドシートを正しく着用する。

年末から年始にかけては、お酒を飲む機会も増える時期ですが、全国各地で飲酒運転による重大事故が多発しています。飲酒の影響として、判断力の低下・視力の低下・遠近感が鈍くなる・運動がうまくならない・正しく動作ができにく

年末から年始にかけては、お酒を飲む機会も増える時期ですが、全国各地で飲酒運転による重大事故が多発しています。飲酒の影響として、判断力の低下・視力の低下・遠近感が鈍くなる・運動がうまくならない・正しく動作ができにく

交通事故の原因で最も多いのは飛び出しです。子どもはひとつのことに注意が向くと周りのものが目に入らなくなり、飛び出しの危険を繰り返します。子どもにも、運転者も子どもの行動特性を

理解しておくことが事故の防止につながります。
冬の運転の注意点
これからの季節、道路の凍結によるスリップ事故が起こりやすくなります。チェーンやスタッドレスタイヤなどの滑り止めの装着、凍結防止剤の使用に加え、橋の上・トンネルの出口といった凍結しやすい場所では、手前で十分に減速し、急ブレーキ・急発進・急ハンドルといった急のつく運転を避けることが大切です。

りやすくなります。チェーンやスタッドレスタイヤなどの滑り止めの装着、凍結防止剤の使用に加え、橋の上・トンネルの出口といった凍結しやすい場所では、手前で十分に減速し、急ブレーキ・急発進・急ハンドルといった急のつく運転を避けることが大切です。

飲酒運転追放へ
年末から年始にかけては、お酒を飲む機会も増える時期ですが、全国各地で飲酒運転による重大事故が多発しています。飲酒の影響として、判断力の低下・視力の低下・遠近感が鈍くなる・運動がうまくならない・正しく動作ができにく

飲酒運転追放へ
年末から年始にかけては、お酒を飲む機会も増える時期ですが、全国各地で飲酒運転による重大事故が多発しています。飲酒の影響として、判断力の低下・視力の低下・遠近感が鈍くなる・運動がうまくならない・正しく動作ができにく

飲酒運転追放へ
年末から年始にかけては、お酒を飲む機会も増える時期ですが、全国各地で飲酒運転による重大事故が多発しています。飲酒の影響として、判断力の低下・視力の低下・遠近感が鈍くなる・運動がうまくならない・正しく動作ができにく

町では交通安全対策として、交通安全の街頭啓発運動、交通安全フェスタの開催、カーブミラーやガードレールなど交通安全設備の整備、チャイルドシート購入に対する助成を行っています。

交通事故による死者は全国的に見ると減少傾向にありますが、65歳以上の高齢者が死者の4割強を占め、人口構成率と比較しても2・2倍と高い水準となっています。高齢者にとっても身体機能の低下により、危険の回避や車の速度・距離の感覚をつかむのが遅くなるので注意が必要です。

町の交通安全対策

高齢者と子どもの交通事故

12月1日から10日まで年末の交通事故防止運動が実施されます。初日は運動期間を周知することを目的に、日生中央駅前周辺・県道川西三田線で街頭啓発が行われます。日々の暮らしに車が欠かせない人も多いと思いますが、交通事故の加害者にも被害者にもならず、安全教育の場である幼児交通安全教室を取材しました。

う さ ち ゃ ん ク ラ ブ

交通ルールを楽しく学ぶ



▲手作りの教材を使った楽しい教室

や腹話術人形のふくちゃんも登場し、子ども達は歌や紙芝居、ゲームを通して信号の見方・飛び出しの危険・自転車のルールなど、さまざまな交通ルールを楽しく学びます。

クラブの交通指導員は、町内の保育園でも安全指導を行っています。また、子育てサークルや老人クラブ、自治会などからの指導依頼も受けています。平成19年度うさちゃんクラブ参加者の募集については、3月1日号広報でお知らせします。

交通指導員の福田真由美さん(右)と前田雅彦さん(左)のお話

私達と一緒に交通ルールを学びましょう！



幼児期から交通安全を学ぶことは、自然に交通ルールを身につけ、保護者の安全意識を高めることにもつながります。

クラブの活動で、子どもの交通事故がなくなっていくことを強く願っています。

おまわりさんと実地訓練

10月29日、太陽猪名川自動車学校でおまわりさんと一緒にクラブの実地訓練が行われました。子ども達はお父さんやお母さんと手をつないで、左右の確認をして踏み切りを渡り、手を上げて交差点を横断し、いつもクラブで練習している安全確認をしっかりと行っていました。また、バスによる巻き込み実験や猛スピードで走る車の急ブレーキ実験を見たり、パトカーに乗るなど、体験を通してさまざまなことを学びました。

参加していた保護者のつづしが丘在住の戸牧理絵さんは「クラブでは家で教えられるいろいろなことを教えてもらえて、親子ともども勉強になります」と笑顔で話されました。



▲実際に道路を歩いて安全確認の練習

編集後記



取材でうかがったうさちゃんクラブは、子ども達が笑顔で交通ルールを学んでいる様子。昨今、大人達の無謀な運転や気のゆるみによって大きな事故が引き起こっています。私達一人ひとりが、子ども達のお手本になるように、気を引き締めていかなければならないと感じました。

【いながわ特派員】